

# 在宅取り組み型 体験活動参加型 (中学校)

学校名等	神戸町立神戸中学校
実施日時	夏休み・9月18日(体育大会:弁当の日), 10月~12月の任意の休日部活(ふれあい部活動), 10月26日(ハーバリウム教室), 11月26日(クッキング&食育講話)
会場	各家庭, 神戸中学校, 各地のスポーツ施設 等
参加人数	480名(お弁当づくり), 170名(ふれあい部活動), 38名(ハーバリウム教室) 18名(クッキング&食育講話) ※いずれも保護者
学習課題(分野)	親子でつくる「お弁当の日」・「親子ふれあい部活動」「ハーバリウム教室」「クッキング&食育講話」
運営者の願い	家庭教育学級の活動として, 夏休みと体育大会当日に親子でつくる「お弁当の日」と2学期後半は, 「親子ふれあい部活動」「ハーバリウム教室」「クッキング&食育講話」を企画した。親子で会話をしながら弁当をつくったり, 対戦型や実習参加型などの部活動に取り組んだり, 親子で感謝する姿を交流し合ったりして, 日頃できない親子のコミュニケーションを深める機会にできたらと願い企画した。

## 学習の内容

### 【家庭教育学級の推進について】

本校のPTA組織には, 家庭教育を推進する委員会はないが, PTA本部に家庭教育を担当する副会長を位置付けている。副会長が調整役となり, 事業の推進している。本部の事業として「親子でつくる「お弁当の日」, 「親子ふれあい部活動」を行い, 母親委員会の事業として「ハーバリウム教室」, 給食購販委員会の事業として「クッキング&食育講話」を実施した。

### ＜親子でつくる「お弁当の日」＞

中学校までは給食があるため, なかなか家庭で弁当をつくる機会は少ないが, 高校生になると, 毎日親は栄養のバランスや量, 彩りなど, さまざまな要素を考えながら子どもに弁当を持たせる。そこで, 次のような願いをもって今回の活動を行った。

○自身が弁当づくりを行うことで, 栄養面に対する意識を高め, 自分の健康を自ら守っていかうと考えられるようにさせたい。

○食事には気持ちがこもっており, それによって自分が支えられているということを感じさせる。

○弁当づくりという共同作業を通して, 親子が共通の話題でコミュニケーションを深めることができるようにしたい。

夏休み中に作った弁当については, 夏休み明けに写真入りの報告書として提出させ, その中からPTA本部役員が学級を代表する弁当を選び, 秋に行われた「町文化祭」に出品した。

保護者には, 体育大会の当日はできる限り同じ弁当を作ってもらい, 昼食時に子どもたち同士もつくったときの様子を交流する機会とした。



(町文化祭で掲示した学級を代表する弁当)

### ＜親子ふれあい部活動＞

神戸中学校では, 多くの部活動が熱心に活動していて, すばらしい成績も残している。保護者はそうした子どもたちの活動を陰で支える存在である。

そこで, 親子がいっしょに体を動かしたり, 親子で制作活動を行ったりして, 普段では味わえないコミュニケーションを図れるようにしたいと考えて活動を企画した。

部の実情に合わせて日程を決め, 部ごとに実施した。

### ＜ハーバリウム教室＞

保護者同士が共通の趣味ができたり, 教養を身に付けたりする研修を母親委員会が中心になり開催している。

体験をしながら, 子育てに関する話や子どもの学校生活についての話を交流する姿などが見受けられて, 親どうしの交流の場にもなった。昨年度から始めた企画であるが来年度も継続をしてほしいという要望が多くあった。



(ハーバリウム教室)



## 親子でつくる

### 「弁当の日」

保護者の感想より

夏休み中, 部活のお弁当づくりや昼ご飯づくりと一緒に料理することが増え, スムーズに取り組めました。できたおかずで家族の弁当も作ったので父親や祖父母にも大好評で, 家族の笑顔を見ることができました。温かい気持ちのこもった料理がみんなを笑顔にすることを忘れないでほしい。体育大会当日もこの調子で頑張ろう。



取組やすい時期だった。ふれあいができた。次の目標がある。



## 親子ふれあい部活動

保護者の感想より

・普段, 応援しているときに「そこ!」「行け!」と熱が入ってしまうけれど実際に親子で試合をしてみると動けないことばかり。子どもも一生懸命にやっているのだから, もっとできた事をほめてあげたい。

・まだまだ子どもに負けないつもりで試合した。家に帰ってからも試合のことで楽しい食卓になった。

・子どもが部活動に一生懸命に取り組む姿を見られた。親として応援してあげたい。



・子ども目線になれた。  
・会話が弾んだ。  
・活動の様子がわかった。